

文京区の教育における新たな学びの視点について

社会の変化と文京区の子どもの現状

新学習指導要領

- ・知識の活用を重視
- ・主体的・対話的で深い学び

Society 5.0（超スマート社会）

- ・読解力、社会的スキル、情報活用能力の育成が重要

新しい学力観への転換

- ・SDGsの達成に向けた教育（ESD等）
- ・OECDの「キー・コンピテンシー」やユネスコの新しい学習の柱「自分自身と社会を変革することを学ぶ」

今後必要とされるもの

- 他者と協働しつつ創造的に生きていくための資質・能力
- 答えが一つではない課題に対して向き合うような学び

文京区の子ども

- ・学力が高く、学ぶ力がある。
- ・他者との関係づくりが上手くいかない場合がある。

社会の大きな変化に向けて
長所を伸ばし、
課題を解決する必要性

新たな学びの視点

新しい未来の創り手の育成 ～ かかわる 見つける 伝える ～

【 「言葉」と「かかわり」を重視した教育活動の推進 】

「持続可能な社会を見据えて、新たな未来を創る子どもたちを育成する」という方向性のもと、「文の京」の特色を生かした人・自然・地域等との様々なかかわりの中で、子どもたちが感じ、考え、見つけたものを言葉で論理的に表現する「課題発見・問題解決型の学び」「対話的で協働的な学び」を行うことが重要である。これにより、他者と協働していく力、自律的に判断する力、自己実現を図る力等を育てていく。

「文の京」の人・自然・地域等との
かかわり

課題発見・問題解決型の学び

対話的で協働的な学び

か
か
わ
る
見
つ
け
る
コ
ミュ
ニ
ケー
ション
伝
え
る

課題を発見し、物事の価値、真実、
歴史、なりたい職業等を見つける

深く考え、言葉で論理的に
伝える

※必ずしも矢印の順になるとは限らない。

「言葉」はすべての教科の基本。
学力の核となる。

「縦のつながり」と「横の広がり」を大事にする。
（縦）幼児教育から小・中学校へのつながり
（横）教科横断的な学び、様々な人とのネットワーク